

千葉市感染症発生動向調査情報

2016年 第20週 (5/16-5/22) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		20週	19週	18週	17週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数	小児科	18	18	18	18
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	28	28	27	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定 点	感 染 症 名	千		葉		市		千葉県
		注意報	5/16-5/22	5/9-5/15	5/2-5/8	4/25-5/1	5/9-5/15	
			20週	19週	18週	17週	19週	
小 児 科	RSウイルス感染症		1 0.06	0 0.00	1 0.06	0 0.00	10 0.07	
	咽頭結膜熱	○	10 0.56	8 0.44	5 0.28	8 0.44	67 0.50	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		40 2.22	52 2.89	36 2.00	38 2.11	442 3.27	
	感染性胃腸炎		119 6.61	127 7.06	104 5.78	98 5.44	748 5.54	
	水痘		4 0.22	18 1.00	5 0.28	8 0.44	79 0.59	
	手足口病		0 0.00	3 0.17	0 0.00	0 0.00	8 0.06	
	伝染性紅斑		2 0.11	4 0.22	8 0.44	4 0.22	42 0.31	
	突発性発しん		15 0.83	13 0.72	14 0.78	14 0.78	86 0.64	
	百日咳		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.03	
	ヘルパンギーナ		1 0.06	0 0.00	0 0.00	1 0.06	1 0.01	
	流行性耳下腺炎		8 0.44	8 0.44	6 0.33	8 0.44	136 1.01	
イン フル	インフルエンザ*(高病原性鳥イン フルエンザを除く)		1 0.04	6 0.21	13 0.48	39 1.39	76 0.36	
眼 科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.09	
	流行性角結膜炎	○	7 1.40	4 0.80	4 0.80	2 0.40	32 0.91	
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.22	
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(11件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	20歳代	IGRA検査等	A型肝炎	男性	30歳代	血清IgM抗体の検出
結核	男性	30歳代	IGRA検査等	ウイルス性肝炎	男性	30歳代	血清CMV-IgM抗体の検出
結核	男性	50歳代	病理学的特徴的所見	侵襲性肺炎球菌感染症	女性	70歳代	病原体の検出等
結核	男性	50歳代	IGRA検査等	侵襲性肺炎球菌感染症	女性	80歳代	病原体等の検出
結核	男性	70歳代	画像診断等	水痘(入院例)	女性	40歳代	血清IgM抗体の検出
結核	女性	10歳代	IGRA検査等	-	-	-	-

・第20週は、結核6件(85)、A型肝炎1件(2)、ウイルス性肝炎1件(1)、侵襲性肺炎球菌感染症2件(17)、水痘(入院例)1件(1)の報告があった。

※ ()内は2016年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第20週のコメント

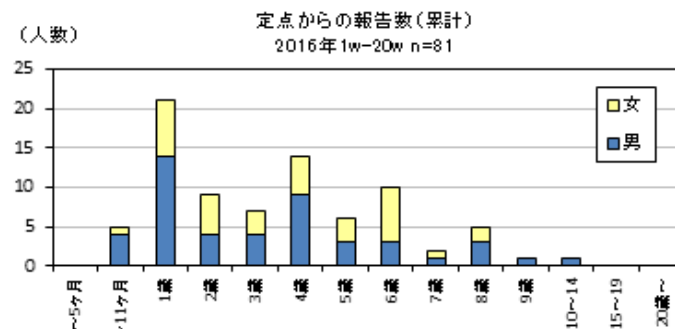
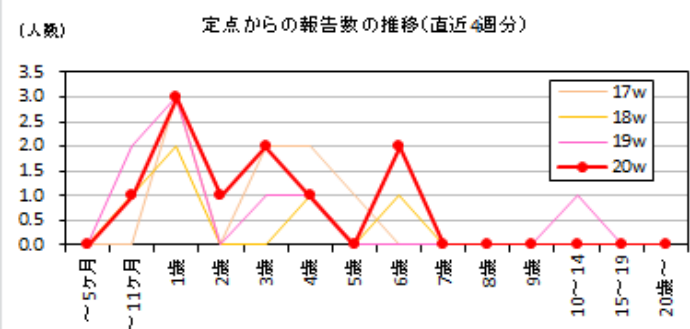
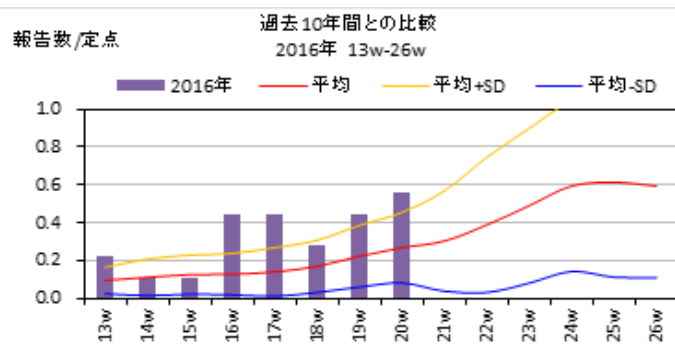
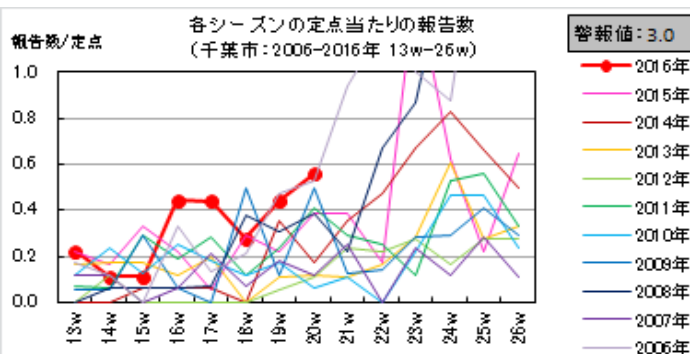
＜咽頭結膜熱＞前週から更に増加し0.56となった。過去10年の同時期と比べると最多。

＜流行性角結膜炎＞前週から増加し1.40となった。今年では最多で、過去10年の同時期と比べると多い。

■ トピック ■

<咽頭結膜熱>

全国レベルの第19週は過去9年の同時期と比べると最多となりました。都道府県別では、佐賀県、島根県、鹿児島県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより若干少なめとなっています。千葉市の第20週は前週より更に増加し0.56となり、過去10年の同時期と比べると最多となりました。区別の発生状況は、若葉区(1.5/定点)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。2015年第1週から第20週までの累積報告数(n=81)によると、性別では男性が58.0%(47名)、女性が42.0%(34名)で、年齢階級別では1歳(25.9%:21名)、4歳(17.3%:14名)、6歳(12.3%:10名)の順に多くなっています。



<流行性角結膜炎>

全国レベルの第19週は過去9年の同時期と比べるとほぼ平均レベルとなっています。都道府県別では、神奈川県、鹿児島県、宮崎県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより若干多めとなっています。千葉市の第20週は前週から増加し1.40となり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、美浜区(6.0/定点)で最多で、同区の4歳最も多く発生報告がありました。2015年第1週から第20週までの累積報告数(n=65)によると、性別では男性が41.5%(27名)、女性が58.5%(38名)で、年齢階級別では30歳代(26.2%:17名)、50歳代(13.8%:9名)、40歳代及び60歳代(共に9.2%:6名)の順に多くなっています。

